

稲福全三先生を偲んで 敬愛する全三先生と私



那覇市医師会 長嶺 信夫
(e-mail : nagamine1128@yahoo.co.jp)



故 稲福 全三 先生

高嶺徳明顕彰碑除幕式典であいさつするお元気な頃の稲福全三先生
(1993年12月1日県医師会撮影)

敬愛する稲福全三先生が2024年6月4日、98歳でお亡くなりになりました。亡くなられたのを知ったのは、那覇市医師会の評議員会報告文書が自宅に届いた8月初旬です。告別式の新聞広告を見落としてしまい、告別式にも参列することができませんでした。親しくしていた新里眼科の新里越郎先生がお亡くなりになった時もそうでした。現役を退いてから、医師会関係の情報を得ることが少なくなり残念に思っています。

私が稲福先生に最初にお会いしたのは、40年程前、私が開業した2年後です。

当時、那覇市医師会長であった稲福先生から那覇市医師会の学術・広報担当理事になってほしいと電話を頂きました。まだ班選出の評議員も経験していない時です。私が開業後に実施した「中・高校生の喫煙」などに関する、調査活動が新聞報道され、その記事が目にとまったのでしょう。

最初は理事就任をお断りしたのですが、粘り強い説得に断り続けることができず、理事に就任しました。恩師の古波倉正照先生や当時すでに那覇市医師会の若手理事として活躍していた那覇高校同期の當山護先生とも相談しました。考えてみると、那覇市医師会副会長をなさった経験がある古波倉先生や現役理事であった當山先生から「断るように！」と助言があるはずはありませんでした。

理事に就任したことが医師会活動に参加するきっかけになりました。稲福先生には折に触れ、公私とも色々御指導をいただきました。

開業後も、休日に那覇市救急診療所に外科医として勤務していた時、当時の救急診療所所長に関して新聞沙汰になったことがあります。那覇市議会でも盛んに論議され、県医師会も対応を迫られる状態になっていました。県医師会から意見を求められ、當山護先生とともに手分けして、文案を作成、琉球新報、沖縄タイムスの「論壇」に投稿したことがあります。

2001年1月、県立中部病院の嘱託医であった山城医師の過労死事件に関して琉球新報社の「論壇」に投稿、琉球新報社と提携して調査し、事件が新聞に大きく報道されました。この事件の背景が記載された私の「論壇」記事が中部病院の掲示板に掲示されていたとのこと。中部病院の宮城征四郎院長や安次嶺馨医師からは直接電話をいただきました。当時、全国でも医師の長時間労働・過労死が問題になっていました。沖縄県議会では公務員医師の勤務実態や定員問題が長期にわたって論議され、その後、幾分かの医師の定員増がなされたことがあります。那覇市医師会でも医師の過労死問題を公務員医師会とともに問題視し、対応を協議しました。当時は血気盛んでした。

那覇市医師会理事就任以来、2016年7月30日に亡くなられた古波倉正照先生とともに稲福全三先生は医師会活動や学術関係で私が最も尊敬する恩師です。悪い事はできないと思わせる慈愛に満ちたお釈迦様のような存在でした。

私が医師会活動を続けていた中、稲福先生は長年那覇市医師会長、県医師会副会長などの要職を歴任し、沖縄県の医療福祉に貢献するとともに、後進の指導育成に尽力されました。また、忘れてならないのは、沖縄県アイバンク協会理事長として、目の不自由な方に眼球を提供する献眼運動を推進なさっていたことです。御自身の眼球も浦添総合病院で献眼なさったと思います。これらの功績で、日本医師会最高優功賞、

那覇市政功労者表彰、沖縄県功労賞を受賞されています。

稲福先生から、稲福先生が沖縄県医師会副会長の時、次期会長選任で多くの執行部役員や地区医師会代表から次期会長にと推挙されながら、後進に道を譲った時の話を聞いたことがあります。話を聞いたのは、8年前、沖縄県医師会発足以来、初めて代議員会での投票で県医師会会長選挙があった時です。私は当時、県医師会代議員会議長を務めていた関係で、県医師会会長選挙に強い関心をいただいていた。温厚で、こころ優しい稲福先生の御人柄が偲ばれるエピソードです。遠い国の話ではありません。今年も県医師会会長選挙が投票形式で実施されました。投票形式が悪いわけではありませんが、後進を育成し、医師会を活性化させるためにも、医師会長、副会長の任期制（最長4期8年まで）の導入を検討してもいいのではないかと考えています。

私が最後に稲福先生にお会いしたのは、2年程前、那覇市医師会での新型コロナワクチン接種の時でした。挨拶すると、いつもの笑顔で握手してくださいました。その時はまだお元気でした。

稲福先生は晩年まで、現役で医療活動をなさいました。しかし、寿命には限りがあります。敬愛する稲福先生がお亡くなりになったのは残念ですが仕方がありません。

長年の御指導に感謝するとともに、御冥福をお祈りいたします。

ありがとうございました(2024年8月31日)。



沖縄医学生教習所碑再建除幕式典記念写真 前列左端が稲福全三先生
(1999年7月14日県医師会撮影)